

Progress

—素直・謙虚・感謝—

加古川市立浜の宮中学校

第1学年 学年通信

令和 7年 12月 23日

12月12日(金)、15日(月)委員長会が企画した浜中 clean up に寒空の中、たくさんの人がボランティアとして参加してくれました。中には、暑くなって半そでで清掃している人もいたほどでした。学校のために動いてくれる人がこんなにもいることが本当に嬉しいです。

11日に行われた生徒会選挙では1年生から穴田音々さんが副会長に選ばれました。今後のより良い浜中に向け、活躍を期待しています。残念ながら当選はしなかったけれど、他の立候補者の人たちの演説や活動もすばらしかったです。そして選挙管理委員、責任者、クラスの応援の人たちも本当によく支えてくれました。みんなの協力があったから、無効票もなくスムーズに選挙が行われました。ありがとうございました。

人権について考える

11月から人権について学習をしてきました。「7つのリュック」ではさまざまな年齢層や性別、障がいがある人たちがいて、どの人にどの荷物を振り分けるかを考えることによって、公平や公正について考えました。「ちがいのちがいがい」では、あってもよ

7つのリュックをどう分ける？
毎週、大・中・小の各学年の7つのリュックが用意されています。
このリュックを分けて、各学年の生徒が持ち帰ります。



いちがいとあってはならないちがいにについて考えることで、他者への理解や区別と差別のちがいも考えました。そして強烈な印象を持ったであろう「青い目 茶色い目」。古い映像ではありましたが、実際に差別を目の当たりにして、人はこんな

ちがいのちがいがい 学習シート
1. ちがいのちがいがいとは何か。ちがいのちがいがいとは、ちがいのちがいがいであること。ちがいのちがいがいとは、ちがいのちがいがいであること。



にも簡単に周りに影響され、他人を差別する行動をとってしまうことや、差別されていた人が立場が変われば他人を差別する側になってしまうこと、周囲から認められるということが人にいかに影響を与えるか、ということがわかったと思います。そして「僕の家族も…」ではなんでもない会話のように思える内容が、実は差別発言であることを知り、自分の言動にも注意しようと思ったという感想を持った人も多いでしょう。「相手の立場になって考える」ということは言葉では簡単に言えますが、実際にしようとするとは難しい場合もあるかもしれません。周りの人を大切にしようという意識を持つことが、人権を守ることにつながります。エリオット先生は、授業後に「この授業をここで終わらせずに、学んだことを続けて、世の中を良くしていくこともできる。逆に、何もしないという選択もできる。」と言っていました。日々、意識をすること、そして差別をなくすために学び続け、さらに行動に移していくことが大切です。

- ・差別というのは、こんな苦しいもので怒りの気持ちなどがあるんだと初めて気づきました。人を比べたり人をからかわない、人間はみんな同じということを大切にしていこうと思います。
- ・今日の授業を受けた僕たちが、差別やあってはいけない違いを減らすことをして「ちがいのちがいがい」について考えることが大事だと思いました。
- ・無意識に話した言葉の中に差別的な言葉があるのではないかと思います。私は人の心を考えられる人になりたいと思いました。

★第1学年 1月当初の行事予定★

1月 7日(水) 始業式 8:20までに制服で登校

制服・髪など、身だしなみを整え、3学期スタート！

①始業式、清掃 ②数テスト ③英テスト

※持ち物：上ぐつ、体育館シューズ、筆記用具、そうきん1枚、赤ファイル、提出物

1月 8日(木) 課題テスト

①社テスト ②理テスト ③国テスト

1月 9日(金) 給食開始(おはし、給食係はエプロン、マスク)

①学活 ②学活 ③月3 ④月4 ⑤月5 ⑥月6

1月13日(火) 通常授業 専門委員会

1月19日(月) 1. 17集会